

平成27年度 八幡平市商工会経営発達支援計画事業評価総括表

実施者名	八幡平市商工会		
実施期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日（5ヵ年）		
目 標	<p>八幡平市は、自然景観・温泉・スキー場などの質の高さを誇る全国有数の観光地であるとともに地域特性を活かした農畜産物も豊かな地域であるが、急速に進展する少子高齢化や人口減少の進展等により小規模事業者の廃業が目立っているため、</p> <p>八幡平市商工会は</p> <p>目標1. 小規模事業者支援機関としての役割を踏まえ、個別企業の経営力向上支援、需要開拓支援を強化します（伴走型支援の強化）</p> <p>目標2. 総合的経済団体としての役割を踏まえ、地域経済の活性化に資する取り組みとして観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りを推進します</p>		
評価規準	評価基準は ・A → 実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの ・B → 実施されたが効果（活用）があまり見られない、もしくは不明のもの ・C → 実施されたが、回数・件数が目標を下回っているもの ・D → 実施されなかったもしくは、実施されたがほとんど達成することができなかった	※数値目標に対する達成率が100%以上 ※数値目標を概ね達成（80%～99%） ※数値目標の半分程度（30%～79%） ※数値目標（30%未満）	
事業内容	平成27年度目標	平成27年度実施内容（実績）	評価・検証結果
	<p>1. 経営発達支援事業</p> <p>目標1. 個別企業の経営力向上支援と需要開拓支援の強化</p> <p><u>指針① 小規模事業者の経営状況の分析に関すること（経営分析）</u></p> <p>(1) 会計データを基にした簡易経営診断の実施 これまでの記帳指導や金融指導から、売上構成比、ここ数年の特徴的な経営上の変化など自社の個別課題についてヒアリングし経営状況等を分析する。</p> <p>(2) アンケート調査やヒアリングによるSWOT分析の実施 巡回訪問によるヒアリングやセミナー開催を通して実施するアンケートにより小規模事業者の支援ニーズを的確に把握し、具体的な各種支援制度の活用を見据えた経営状況等の分析を行う。</p> <p>（具体的目標）①簡易経営診断件数 年60件（5年後の累計300件） 内訳 決算データを基にした経営分析 30件 ヒアリングやアンケートを基にした経営分析 30件 ②事業計画策定に関する経営分析件数 年43件</p>	<p>（実施内容） 巡回指導 1,735件 決算指導 232件 記帳指導 90件 労働保険事務委託 222件</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①簡易経営診断件数 ・経営データ把握数 454事業所分 （決算指導・労働保険受託 重複あり） ・経営状況の分析 決算指導 232件</p> <p>②事業計画策定支援件数 44件 内事業計画策定に関する経営分析件数 41件</p>	<p>評価</p> <p>コメント</p> <p>D</p> <p>ヒアリング・アンケートによる支援ニーズの把握、経営状況の分析が実施されなかったため</p> <p>B</p> <p>95%（概ね達成）</p>

	<p>指針② 事業計画策定支援に関すること</p> <p>掘り起し</p> <p>(1)技術の向上及び新たな分野開拓等経営力向上に関するセミナーや個別相談会の開催により、経営革新等の事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起しを行う。</p> <p>(2)小規模事業者が抱える経営課題を解決するための指導・助言体制を強化する。</p> <p>(3)経営革新等の計画策定を目指す小規模事業者の他、金融相談や持続化補助金、ものづくり補助金等の申請者に対して必要な事業計画の策定支援を行う。</p> <p>(4)小規模事業者の持続的発展を支援するため、新たに創設される「小規模事業者経営発達支援融資制度」を積極的に活用する。</p> <p>(5)商工会ホームページ上に各種支援制度の紹介と成功事例を紹介し、意欲ある小規模事業者の取り組みを支援する。</p> <p>創業等支援、事業承継支援</p> <p>(1)「創業セミナー」(全2回開講)を開催し、創業希望者の知識向上を図り、創業計画の策定支援を行うことにより、創業支援を行う。</p> <p>(2)事業承継に関する相談会を年1回開催し、事業承継計画策定等の支援を行う。</p> <p>フォローアップ</p> <p>(1)小規模事業者の持続的発展を促すために、事業計画に沿って事業が進捗しているか否かのフォローアップを手厚く実施するために、事業計画策定後に必要に応じて3カ月に1度巡回訪問し、進捗状況の確認と指導・助言を行う。</p> <p>(2)特に創業・事業承継に関しては事業計画に沿って事業が進むよう身近な支援機関として、小規模事業者の視点に立って、伴走しながらきめ細かく丁寧に対応するとともに、市をはじめ地元金融機関など地域ぐるみで総力を挙げて支援するための体制を構築し、年2回支援会議を開催する。</p> <p>(3)創業及び事業承継後は、先輩経営者との意見交換会、経営指導員・専門家による個別フォローアップ、税務相談を重点的に行い、最低3年間は支援を行う。</p> <p>(4)事業計画策定後に、国、県、八幡平市、岩手県商工会連合会の行う支援策等の周知を強化するとともに、随時、フォローアップを実施する。</p> <p>(具体的目標) ①掘り起しセミナー等開催回数(経営革新、創業・事業承継等) 年5回以上</p> <p>②経営革新計画認定事業所 年5件以上</p> <p>③持続化補助金支援事業所 年19件以上</p> <p>④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援 年1件以上</p> <p>⑤創業(事業承継)支援者数 年5件(3件)以上</p> <p>⑥計画実施支援数(フォローアップ) 45事業所年延べ74件以上</p>	<p>(実施内容)</p> <p>・経営計画作成セミナー(5月13日実施) (八幡平市商工会 10名)</p> <p>◎経営革新計画作成支援 5事業所(内認定2)</p> <p>◎ものづくり補助金支援 1事業所</p> <p>◎持続化補助金支援 38事業所(内採択23)</p> <p>◎業績向上支援 18事業所 (経常利益向上、雇用の増加等)</p> <p>◎マル経制度の推進 11件</p> <p>・事業承継セミナー(2月22日実施) (市役所会議室 12名)</p> <p>◎創業者支援 1件</p> <p>持続化補助金、経営革新計画作成支援、新商品開発支援、創業支援等に関するフォローアップ 31事業所 延べ148回</p> <p>○目標に対する実績</p> <table border="0"> <tr> <td>①セミナー開催</td> <td>計2回</td> <td>C</td> <td>回数40%</td> </tr> <tr> <td>②経営革新計画策定支援件数</td> <td>5件</td> <td>C</td> <td>認定件数40%</td> </tr> <tr> <td> " 内認定件数</td> <td>2件</td> <td>A</td> <td>支援事業所数100%</td> </tr> <tr> <td>③持続化補助金支援事業所</td> <td>38件</td> <td>D</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 内採択</td> <td>23件</td> <td>D</td> <td>創業支援20%</td> </tr> <tr> <td>④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援</td> <td>0件</td> <td>C</td> <td>支援事業所数69%</td> </tr> <tr> <td>⑤創業(事業承継)支援者数</td> <td>1件</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥計画実施支援数(フォローアップ)</td> <td>45事業所 148回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①セミナー開催	計2回	C	回数40%	②経営革新計画策定支援件数	5件	C	認定件数40%	" 内認定件数	2件	A	支援事業所数100%	③持続化補助金支援事業所	38件	D	0%	内採択	23件	D	創業支援20%	④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援	0件	C	支援事業所数69%	⑤創業(事業承継)支援者数	1件			⑥計画実施支援数(フォローアップ)	45事業所 148回				
①セミナー開催	計2回	C	回数40%																																	
②経営革新計画策定支援件数	5件	C	認定件数40%																																	
" 内認定件数	2件	A	支援事業所数100%																																	
③持続化補助金支援事業所	38件	D	0%																																	
内採択	23件	D	創業支援20%																																	
④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援	0件	C	支援事業所数69%																																	
⑤創業(事業承継)支援者数	1件																																			
⑥計画実施支援数(フォローアップ)	45事業所 148回																																			

	<p>指針③ 地域の経済動向調査、需要動向調査 (経済動向調査)</p> <p>(1)小規模事業者の経営課題の解決及び需要開拓等に資する事業計画策定に活用することを目的として、巡回による売上等業況に関する情報収集に加え、新たに地区内の景況調査を実施する。</p> <p>(2)地域経済の活性化と小規模事業者の持続的発展を図ることを目的として、行政、金融機関等の統計資料及び各種レポートによる経済動向に関する情報収集を実施する。また、分析結果を踏まえ市・観光協会・商工会等で情報交換を年2回開催する。 (需要動向長)</p> <p>(1)地域内商業、サービス業個々の需要動向、商店街の需要動向に関して、商工会が実施している5%プレミアム商品券事業を通して、地域の景況、消費者動向、大型店利用状況、小規模事業者及び地域の課題などの情報を収集するとともに、専門家による分析結果を需要開拓や経営課題の解決のために活用する。</p> <p>(2)観光に関しては、市等との連携により宿泊業から毎年利用状況を調査、分析する。調査結果は市及び観光協会等と共有するとともに、需要開拓、課題解決に向けて活用する。また、分析結果をふまえた戦略提言を行うため、市・観光協会・商工会等で「戦略会議」を開催する。</p> <p>(3)飲食業等に関しては、グルメスタンプラリー事業を継続実施して人気メニューの動向を分析、課題等を抽出し、観光・飲食業の需要開拓支援に活用する。また、分析結果を活かし、新商品・新サービス開発の方向を提案するものとし、各店のメニュー開発等を支援するとともに、さらに参加店を増やし毎年1回グルメスタンプラリーを実施する。</p> <p>(4)製造業については、商談会や物産展、バイヤー、専門家による助言・情報等小規模事業者個々の商品の需要動向について収集、分析した内容についての情報を提供する。また、国内の経済動向、需要動向の情報提供と個別指導を目的に年2回バイヤー及び専門家を招聘し、新たな商品開発並びに需要開拓に資する支援を行う。</p> <p>(具体的目標) ①地域内景況調査・分析 調査対象50事業者 年2回以上 ②消費動向及び観光に関する調査・分析 年1回以上 ③専門家による分析結果の情報提供及び活用 年2回以上 ④観光戦略会議 年2回</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小規模事業者景況調査結果の情報提供 (県連会報の配布 年4回) ・地域創生関連 20%プレミアム商品券発行事業に関して消費者動向調査を実施 (実施期間4月23日~2月29日) ・松尾鉱山に関する有識者モニター調査実施 (実施期間11月22日~23日) ・八幡平市の観光を考える意見交換会 (12月25日) ・グルメスタンプラリーアンケート調査実施 (実施期間7月18日~2月29日) ・横浜高島屋「大東北展」アンケート調査実施 ・専門家バイヤーによる指導 <p>○目標に対する実績</p> <p>①地域内景況調査・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小規模事業者景況調査結果の情報提供 (県連会報の配布 年4回) <p>②消費動向及び観光に関する調査・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20%プレミアム商品券動向調査 1回 ・観光に関する有識者モニター調査 1回 ・物産展(大東北展)アンケート調査 1回 ・グルメスタンプラリーアンケート調査 1回 <p>③専門家による分析結果の情報提供及び活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による支援(小規模事業者支援)4件 <p>④観光戦略会議 1回</p>		<p>市内商工業の景況調査は未実施</p> <p>D 0%</p> <p>B 100% 支援効果未達</p> <p>A 件数100% 支援効果あり</p> <p>C 目標未達</p>
--	--	--	--	---

	<p>指針④ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること (事業内容)</p> <p>(1) 地場産品、工芸品など製造している小規模事業者を対象に、県や商工会連合会などが実施している商談会、県・市連携による展示会等に積極的に出展して小規模事業者の販路開拓を支援する。また、催事及び商品に対するアンケート、バイヤー等専門家による需要動向に関する分析結果を小規模事業者の需要開拓に活用する。</p> <p>(2) 地域食材活用の食品製造業などの小規模事業者を対象に、取引実績があり継続して参加している首都圏の高島屋や京王百貨店の催事、アンテナショップを活用して八幡平市の地域資源を活用した特産品の販路開拓と認知度の向上を図る。 また、催事やアンテナショップでのアンケートやバイヤー等専門家による需要動向に関する分析結果を需要開拓に活用する。</p> <p>(3) 新たな需要開拓を目指し新商品開発や販路拡大を検討している小規模事業者を対象に取引実績ある有名百貨店のバイヤーを招聘し、セミナー及び個別指導を実施するとともに、金融機関等が主催するビジネスマッチングフェアなどの情報提供を行い需要動向に沿った商品開発及び販路開拓を支援する。</p> <p>(4) 全国への情報発信並びに新たな需要の開拓に寄与するために、全国商工会連合会が主催する「観光マッチングフェア」等に参加する。マッチングフェアにおいては全国の旅行会社や観光メディア向けに、商工会が作成する「観光体験プログラム」の認知度向上を図るとともに、ブランド化と滞在型観光を推進することによる小規模事業者の新事業展開・高付加価値化を支援する。</p> <p>(5) マスメディア、ITを活用した取組として、四季折々の地域の選りすぐり情報と頑張っている小規模事業者の情報を商工会ホームページ、フェイスブック「ハチクラ」、フリーマガジン「ハチクラ」(H26年から年5回発行)を通じて、地域の認知度向上と小規模事業者の販路開拓を支援する。</p> <p>(具体的目標)</p> <table border="0"> <tr> <td>① 展示会・商談会開催回数</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>② バイヤーによる個別指導等回数</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>③ 広報紙・HPの充実</td> <td>年6回以上</td> </tr> <tr> <td>④ IT・マスメディアの活用</td> <td>年5回以上</td> </tr> </table>	① 展示会・商談会開催回数	年2回	② バイヤーによる個別指導等回数	年2回	③ 広報紙・HPの充実	年6回以上	④ IT・マスメディアの活用	年5回以上	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県商工会連合会主催「じぇじぇじぇマルシェ横浜」(実施期間 11月5日～9日) (支援先; 羽沢製菓、産業振興㈱) ・グルメダイニングショー(2月3日～5日) (出展者 八幡平地熱活用プロジェクト) ・バイヤーによる指導会(市内事業者巡回) 6月25日～26日 横浜高島屋食品部 11月6日 京王百貨店食品部長 (指導先; 清水川養鱒場、羽沢製菓、わしの尾、産業振興㈱他) ・横浜高島屋「大東北展」(9月9日～15日) (出展者; 羽沢製菓、わしの尾、産業振興㈱) ・京王百貨店新宿店「元祖有名駅弁&全国うまいもの大会」(1月12～18日) (出店者; 清水川養鱒場、産業振興㈱) ・観光商談マッチングフェア出展(12月15日～16日) 「松尾鉾山の観光地可能性調査」 ・フリーマガジン「ハチクラ」5号発行 県内主要観施設、一部東京の商談会等 合計10,000部配布 <p>目標に対する実績</p> <table border="0"> <tr> <td>① 商談会(グルメダイニングショー)</td> <td>1回</td> <td rowspan="2">A</td> <td rowspan="2">実施回数100% 支援事業所14事業所 内販路拡大5事業所</td> </tr> <tr> <td>観光商談マッチングフェア出展</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>横浜高島屋・京王百貨店新宿店・県連主催物産展(横浜)</td> <td>計3回</td> <td rowspan="2">A</td> <td rowspan="2">実施回数100% 高評価</td> </tr> <tr> <td>② バイヤー招聘回数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>(横浜高島屋と京王百貨店新宿店)</td> <td></td> <td rowspan="2">A</td> <td rowspan="2">実施回数100% 高評価</td> </tr> <tr> <td>③ フリーマガジン「ハチクラ」の発行</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>会報の発行</td> <td>6回</td> <td rowspan="2">B</td> <td rowspan="2">概ね達成</td> </tr> <tr> <td>④ HPの充実、WEB等情報発信</td> <td>随時</td> </tr> </table>	① 商談会(グルメダイニングショー)	1回	A	実施回数100% 支援事業所14事業所 内販路拡大5事業所	観光商談マッチングフェア出展	1回	横浜高島屋・京王百貨店新宿店・県連主催物産展(横浜)	計3回	A	実施回数100% 高評価	② バイヤー招聘回数	2回	(横浜高島屋と京王百貨店新宿店)		A	実施回数100% 高評価	③ フリーマガジン「ハチクラ」の発行	5回	会報の発行	6回	B	概ね達成	④ HPの充実、WEB等情報発信	随時	
① 展示会・商談会開催回数	年2回																																		
② バイヤーによる個別指導等回数	年2回																																		
③ 広報紙・HPの充実	年6回以上																																		
④ IT・マスメディアの活用	年5回以上																																		
① 商談会(グルメダイニングショー)	1回	A	実施回数100% 支援事業所14事業所 内販路拡大5事業所																																
観光商談マッチングフェア出展	1回																																		
横浜高島屋・京王百貨店新宿店・県連主催物産展(横浜)	計3回	A	実施回数100% 高評価																																
② バイヤー招聘回数	2回																																		
(横浜高島屋と京王百貨店新宿店)		A	実施回数100% 高評価																																
③ フリーマガジン「ハチクラ」の発行	5回																																		
会報の発行	6回	B	概ね達成																																
④ HPの充実、WEB等情報発信	随時																																		

	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み 目標 2. 観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りの推進 (連携の促進)</p> <p>(1) 滞在型観光・ブランド化等による観光振興と中心商店街の振興</p> <p>① 全国展開支援事業（本体事業2年目）を実施して観光体験プログラムと観光振興の仕組みづくりの具体化、特産品の販路開拓・ブランド化を推進し、全国に対して地域の魅力を発信していく。また、新たな観光振興の仕組みづくりには数年かかることから中長期的な視野で推進することが求められている。</p> <p>② 八幡平市の玄関口であるJR大更駅前の周辺開発に伴い、八幡平市の中心商店街のかつての賑わいを戻すべく「大更未来づくり委員会」（H26 地域内資金循環等新事業検討事業）を中心に商店街活性化への取り組みを支援するため、消費動向及び事業者等の意向を調査分析し、商店街活性化事業計画作成、個店指導に活用する。</p> <p>(2) 観光イベントの効果的な開催のための連携の促進</p> <p>八幡平市発展の方向性が一致している八幡平市、市観光協会、市産業振興(株)、商工会で構成している「輝（ひかり）振興連絡調整会議」が、イベントの目的として掲げる賑わいの創出、交流人口の増加が図られるよう事業の検証と検討を行い、効果的な開催に寄与する。</p> <p>(具体的目標) ①観光イベント実施回数 年 4回</p> <p>②滞在型観光推進委員会開催回数 年 10回</p> <p>③商店街活性化推進委員会 年 4回</p> <p>④連携団体等連絡調整会議 年 6回</p>	<p>(実施内容)</p> <p>・委員会 3回実施 松尾鉦山観光地化プロジェクト（調査研究）</p> <p>ワークショップ 4回 視察研修（YAHABARU、新潟県）</p> <p>輝振興連絡調整会議（6回開催） （4月・6月・8月・10月・12月・2月）</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①観光イベント実行委員会 4回 ・観光イベント…八幡平ふるさと花火まつり IWATE ハチマンタイダ イマイト、八幡平山賊まつり、雪フェスタ 2016 4回</p> <p>②滞在型観光推進委員会 商工会主催（全国展開支援事業） 3回 市・ホテル協議会等主催 3回</p> <p>③商店街活性化推進委員会 大更商店街未来を考える会 4回</p> <p>④連携団体等連絡調整会議 輝振興連絡調整会議 6回</p>		<p>B 実施回数 100% (効果測定、分析必要)</p> <p>C 実施回数 60% 効果未達</p> <p>B 実施回数 100% 効果未達</p> <p>B 実施回数 100% 効果未達</p>
--	--	--	--	--

	<p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1) 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 「経営指導員等研修」や「経営支援事例発表会」に経営指導員等が積極的に参加し、支援ノウハウ、支援の現状、支援課題についての情報交換を行うことにより、八幡平市商工会の支援力向上に結び付ける。 また、地域課題の解決及び新たな需要の開拓を目指すことを念頭に、金融機関や行政、岩手県立大学等との情報交換会を、本計画では年1回、本会が主催して行うこととして小規模事業者の需要動向や支援課題等について情報交換を行い、創業支援や新たな需要の開拓のための地域ぐるみの支援体制構築や伴走型支援の強化を図り、小規模事業者の持続的発展に寄与する。</p> <p>(2) 経営指導員等の資質向上等に関すること 経営指導員をはじめとする経営支援スタッフ（補助員、記帳専任職員）8人が、簡易商業診断など業種別・課題別の専門研修会に年間1回以上参加することで、売上げや利益を確保することや経営課題解決を重視した支援能力の向上を図る。 また、経営支援事例研究会等で習得した支援事例について経営指導員と経営支援スタッフによる「勉強会」を2時間開催し、組織内で経営支援のノウハウを共有する。 経営計画策定に係る相談、事業実施支援時のフォローアップ方法について、経営指導員及びプロジェクトマネージャーを中心に指導・助言内容、情報収集手段を学ぶ機会を組織内でつくり、OJTの強化を図り伴走型の支援能力の向上を図る。</p> <p>(3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること ① 税理士・中小企業診断士等の第三者、有識者で構成するメンバーにより、前年度の事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。 ② 常設委員会（事業企画委員会）において、評価・見直しの方針を決定する。 ③ 評価・見直しの結果については、理事会へ報告し、承認を受ける。 ④ 評価・見直しの結果を八幡平市商工会のホームページ (http://www.shokokai.com/hachimantai/) で計画期間中公表する。 ⑤ 事業単位（セミナー、研修会、計画策定支援、計画実施支援、需要開拓に向けた展示会、商談会等支援）で対象企業からの「満足度調査」（アンケート）を実施し、効果、感想、要望、満足度等を把握し、商工会の事業単位でPDCAサイクルを回して事業の見直しに役立てる。</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわてビジネスイノベーションアワード5名 (県内支援機関による支援事例発表2月10日) ・小規模事業者支援研修会（地域支援型）1名 (仙台11月30日～12月1日) ・小規模事業者支援研修会（個者支援型）1名 (盛岡12月7日～9日) ・商工会職員資質向上研修会（上期）1名 (東京7月2日～3日) ・商工会職員資質向上研修会（下期）1名 (東京12月20日～21日) ・事業団研修（仙台校）2回 プロマネ2名 ・その他県連主催研修会 7回 9人 <p>○目標に対する実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ビジネスアワードへの参加 5人（1回） ② 全国連主催商工会職員資質向上研修会 1人（上・下期2回） ③ 県連主催研修会への参加 9人（7回） ④ 事業団等研修への参加 3人（4回） <ul style="list-style-type: none"> ① 事業評価委員会の開催 ② 事業評価結果の公表 	<p>B</p> <p>A</p> <p>C</p>	<p>他の支援機関との積極的な交流実施（全国・県内商工会等） 信用保証協会主催勉強会出席</p> <p>職員の資質向上 研修会参加</p> <p>事業評価の仕組みづくり未達</p>
--	---	---	----------------------------	--

I 27年度事業全体

- (1) 個別企業の経営力向上支援と需要開拓支援の強化については、概ね目標を達成した。
- (2) 地域経済の活性化に資する取組みについては、八幡平市及び観光協会等との連携強化により、概ね目標を達成した。
- (3) 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組みについては、職員を積極的に各種研修会に参加させるなど、支援ノウハウの強化を図った。

II 28年度に向けた改善点

- (1) 本計画がより多くの小規模事業者理解されるよう周知する必要があることから、事業内容をわかりやすく整理するとともに、支援事例の内容・成果についても会報、ホームページ等で紹介し、支援先の拡大を図る。
- (2) 個社支援の実績は上がってきているので、数値目標に対する定量的評価に加え、満足度調査（ヒアリングやアンケート）による成果及び会員からの意見やニーズをとらえた評価を実施する。
- (3) 収集した情報は、業種別・地域別・内容別に整理・分析し、地域の小規模事業所に対して、巡回訪問及び個別相談などを通して提供するとともに、計画作成等の基礎資料として活用する。